

VII 市立小・中学校の概要

小平市の市立小・中学校は、それぞれに教育目標とこれを達成するための基本方針を掲げ、教育活動を行っています。

次のページからは、各校の概要を紹介します。

市立小・中学校一覧

	学校名	所在地
小学校	小平第一小学校	小川町 1-1082
	小平第二小学校	仲町 310
	小平第三小学校	回田町 118
	小平第四小学校	学園西町 1-34-1
	小平第五小学校	花小金井 6-24-1
	小平第六小学校	小川東町 3-1-2
	小平第七小学校	大沼町 1-22-1
	小平第八小学校	鈴木町 1-355
	小平第九小学校	鈴木町 1-82
	小平第十小学校	上水本町 4-4-1
	小平第十一小学校	花小金井 4-16-1
	小平第十二小学校	小川町 1-464
	小平第十三小学校	小川西町 1-22-1
	小平第十四小学校	仲町 33
	小平第十五小学校	小川町 2-1136
	花小金井小学校	花小金井 1-35-1
	鈴木小学校	鈴木町 1-450
	学園東小学校	学園東町 2-15-1
上宿小学校	小川町 1-327	
中学校	小平第一中学校	仲町 506
	小平第二中学校	小川東町 1-17-1
	小平第三中学校	鈴木町 1-311
	小平第四中学校	学園西町 1-3-1
	小平第五中学校	小川町 1-798
	小平第六中学校	大沼町 6-4-1
	上水中学校	上水南町 1-7-1
花小金井南中学校	花小金井南町 1-9-1	

注) 次ページ以降に掲載する児童・生徒数、学級数及び教職員数は、いずれも令和5年5月1日現在



小平第一小学校

所在地 小平市小川町一丁目1082番地
電話 042-341-0008 **FAX** 042-341-0052
電子メール gakkou@01.kodaira.ed.jp
校長 村松 守夫 **副校長** 中村 理明
児童数 522名
学級数 20学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
教職員数 31名

【沿革】（抜粋）

- 明治6年 協同学舎、小川妙法寺に創設
 13年 小川小学校と改称
 25年 第一小平尋常小学校と改称
 28年 小平村立第一尋常小学校と改称
 30年 小平村立小平第一尋常小学校と改称
 42年 校舎新築 小平尋常小学校創立
 昭和4年 小平村立第一小平尋常高等小学校と改称
 11年 校旗制定（月桂樹の校章）
 16年 小平村立小平第一国民学校と改称
 19年 小平町立小平第一国民学校と改称
 22年 小平町立小平第一小学校と改称
 37年 小平市立小平第一小学校と改称
 校歌制定 学校給食開始
 44年 プール完成
 47年 新校舎完成
 48年 体育館完成
 50年 若竹学級開設
 平成12年 パソコンルーム設置
 15年 小平第十二小学校にけやき学級創設
 （本校より分離）
 創立130年記念式典実施
 16年 小平市研究協力校発表
 18年 耐震補強工事・校舎等外壁塗装
 エレベーター・バリアフリートイレ設置
 23年 太陽光発電設備設置
 24年 全校空調設備設置
 25年 創立140年記念式典実施
 26年 体育館床張替工事
 28年 小平市研究奨励校研究発表会
 令和3年 校舎外壁塗装完了
 4年 東京都型学校運営協議会設置
 5年 コミュニティ・スクール設置
 創立150周年記念式典挙行（予定）

【教育目標】

- 人権尊重の精神を基調に、生涯学び続ける国際性豊かな日本人の育成を目指して、以下の教育目標の具現化に努める。
- 考える子：異なる意見を受け入れ、深く考え主体的・創造的に問題解決に取り組む子供
 - ◎やさしい子：自他の生命を尊重し、共感し、人が喜ぶ姿を見て喜べる子供
 - やりぬく子：目標に向かって努力し、失敗しても何度でも挑戦する子供
 - 元気な子：自ら抵抗力を高め、誰とでも協同する子供



学習者用端末を生活科で活用



【教育目標を達成するための基本方針】

学校経営の方針を具体化するために、「小・中連携教育」を着実に進めながら、4つの重点「学力の向上」「健全育成」「地域連携」「働き方改革」を中心に、教育活動を進める。

- (1) 学力の向上《わからないゼロを目指して》
 - ① 1単位時間（45分）を絶対に確保する。
 - ② 「分かる」「できる」授業への工夫をする。
 - ③ 家庭学習の時間を確保し、(10分×学年)を全校で推進。
 - ④ デジタルドリルの活用をすすめる。
 - ⑤ タッチタイピングの取組を全校で推進する。
 - ⑥ 学習環境を整備する。
 - ⑦ 3年以上の算数は習熟度別指導を徹底する。
 - ⑧ プログラミング教育を推進する。
 - ⑨ 週案簿の活用で、意図的計画的指導をする。
- (2) 健全育成《いじめをしない させない を目指して》
 - ① 科学的根拠のある生活指導に転換する。
 - ② 生活規律を徹底する。
 - ③ 個性の伸長を意識した指導をする。
 - ④ 社会性を全校的な取組で育成する。
 - ⑤ 食育は具体的な体験を通して実施する。
 - ⑥ 挨拶を重点に取り組み、落ち着いた学校生活をつくる。
 - ⑦ 教育活動の整備に努め、美しい学校をつくっていく。
 - ⑧ UD（ユニバーサルデザイン）を授業の中核とする。
 - ⑨ 特別支援学級・特別支援教室の指導内容を充実する。
 - ⑩ 交流・共同学習の推進で人間関係づくりをする。
 - ⑪ よつば教室と連携する。
 - ⑫ 知的障害・発達障害等の特性に配慮して授業をする。
- (3) 地域連携《地域とともにある学校を目指して》
 - ① 学校経営協議会を月に1回程度実施する。
 - ② 地域とともに、150周年行事を推進する。
 - ③ ボランティア組織の充実を図る。
- (4) 働き方改革《魅力ある教職 持続可能な教育活動を目指して》
 - ① 業務量を削減し、時間管理を徹底する。
 - ② 人を確保して、業務量の削減を図る。
 - ③ 学校行事の見直しで学校のスリム化を実現する。
- (5) 校内研究《共に学び 教師として腕をあげる》

生活科と総合的な学習の時間のあり方を、授業研究を通して研究する。
- (6) 教育課程《スクラップ・スクラップ&ビルドで》
 - ① 校務分掌の再編を実施する。
 - ② 業務マニュアルの改訂を行う。
 - ③ 会議を精選（スクラップの推進）する。
 - ④ 会議を効率化する。



小平第二小学校

所在地 小平市仲町310番地
電話 042-341-0033 **FAX** 042-341-1945
電子メール gakkou@02.kodaira.ed.jp
校長 山川 順子 **副校長** 石岡 洋平
児童数 553名
学級数 27学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕4学級）
（うち特別支援学級（難聴・言語障害〔通級〕）5学級）
教職員数 38名

【沿革】（抜粋）

明治6年 本校の前身となる文畚学舎・新恣学舎・櫃玉学舎
設立
13年 野中小学校と改称
25年 第二小平尋常小学校と改称
昭和4年 現在地に校舎新築、第二小平尋常小学校及び小平
尋常高等小学校を廃校し、小平村立第二小平尋常
高等小学校として開校
37年 若草学級（特別支援学級）を開設
小平市立小平第二小学校と改称
53年 ことばの教室（通級指導学級）を開設
平成11年 パソコン室完成
13年 小平市高齢者交流室開所
14年 ビオトープ設置
16年 小平市教育委員会研究協力校として研究発表
（地域連携）
18年 東京都教育委員会人権尊重教育推進校として研究
発表（人権教育）
20年 開校80周年記念式典挙行
21年 きこえの教室（通級指導学級）開設
令和元年 小平市教育委員会研究推進校として研究発表
（道徳）
2年 東京都型学校運営協議会設置
3年 コミュニティ・スクール設置
4年 避難所運営準備会、創立150周年実行委員会発足

【学校教育目標】

考える子 自分の考えをもち、判断し、行動できる子
やりぬく子 元気でたくましく、最後まで頑張る子
◎思いやりのある子 相手の立場や気持ちを考え、
共に生きる豊かな心をもつ子

【教育目標を達成するための基本方針】

1 考える子（確かな学力の向上）

- (1) 基礎的・基本的な学力の定着
 - ・年間行事の見直しを図り授業時間確保を徹底して行う。
 - ・東京ベーシックドリル診断シートや全国学力学習状況調査等で児童の実態を分析し、授業改善に取り組む。
 - ・朝学習や夏季休業中に補習授業を実施し、個のつまずきに応じた指導をする。併せて学習者用端末を活用して家庭学習の充実を図る。
 - ・特別支援学級・教室と指導方法や教材を共有したり、交流を行ったりすることで個別指導の強化を図る。
- (2) 言語活動の充実
 - ・全教科で話型や系統表、にこにこことばの宝箱等を活用し言語活動の充実を図り言語能力の育成を図る。
 - ・各教科や読書活動で、図書室、学習情報センターを利用した活動の充実を図り、読書活動の推進に取り組む。
- (3) 学習者用端末を効果的に活用する授業の実現
 - ・校内研究で、授業での学習者用端末の効果的な活用について研究を推進し、活用力・指導力の向上を図る。

2 やりぬく子（たくましく生きる力の育成）

- (1) 健康・安全教育の徹底
 - ・体力テストの結果を踏まえた体育科指導の充実と「楽しみながら運動プログラム」を基に体育的活動を設定し、児童の体力や抵抗力の向上に取り組む。
 - ・毎月の安全指導日に「安全教育プログラム」を活用した指導やセーフティ教室、交通安全教室等の講師を招聘しての体験型指導の充実を図る。
 - ・防災教育の見直しと強化を優先課題とする。教室移動等、全ての教育活動を行う空間に防災頭巾を持ち込み、緊急事態に備えるとともに、児童の防災意識を向上させる。

(2) 生活指導の充実

- ・全校で、「二小あいいうえお」の取組を推進し、基本的な生活習慣、場に応じたあいさつ、相手の立場に立った望ましい言動等の態度の育成に取り組む。
- ・各学級で「いじめゼロサミット」で採択した合言葉を受けた目標を掲げ、いじめ未然防止の取組を推進する。
- ・いじめ対策会議を月1回及び対応が必要な事案が発生した際は即時開催し組織的に迅速に対応する。

3 思いやりのある子（豊かな心の教育の充実）

(1) 道徳教育の充実

- ・「考え、議論する道徳授業」を実践し、道徳科と教育活動全体との関連を図り授業改善に取り組む。

(2) 多様な交流活動の実現

- ・異年齢集団や若草学級との交流・共同活動・副籍児童との交流を積極的に推進することでお互いに認め学び合う態度を育てる。

(3) 勤労・奉仕活動の強化

- ・教育活動全体を通して、勤労の尊さや奉仕活動の大切さを体得させ、協力・協働して取り組む態度を育てる。

【若草学級（特別支援学級）の教育目標】

一将来、社会の一員として自立できることを目指す一

- ① 自分でよく考え、行動できる子ども
- ② 生活に必要な能力や技能をもち、生かせる子ども
- ③ 集団の決まりや社会のルールがわかり、いろいろな人と交流できる子ども
- ④ 健康で明るく、最後までがんばろうとする子ども

【きこえとことばの教室の教育目標】

（難聴・言語障害指導通級学級）

聴覚や言語に困難のある児童が学校生活や社会生活によりよく適応できるよう、困難を主体的に改善するための知識や技能や態度及びコミュニケーション能力を身に付けることができるようにする。

【特色ある教育活動】

- 1 創立150周年事業の実現
- 2 特別支援教育の推進強化
- 3 抵抗力、免疫力の高める体育科の充実
- 4 特別活動の推進による児童の自尊感情の育成
- 5 学校経営協議会（コミュニティ・スクール）を置く学校として地域・家庭との連携推進

小平二小は2023年に
創立150周年を迎えます





小平第三小学校

所在地 小平市回田町118番地
 電話 042-321-0189 FAX 042-321-0614
 電子メール gakkou@03.kodaira.ed.jp
 校長 木田 明男 副校長 西浦 幸三
 児童数 706名 学級数 23学級
 教職員数 33名

【沿革】 (抜粋)

明治13年 回田新田に私立桜蔭学校を創設
 25年 第四小平尋常小学校と改称
 42年 第三小平尋常小学校と改称
 大正9年 旧校舎から現在地に新築移転
 昭和16年 小平第三国民学校と改称
 22年 小平第三小学校と改称
 30年 児童通学用「小桜橋」が完成
 35年 新しい校歌を制定
 47年 プール・体育館完成
 48年 鉄筋校舎の増改築が行われ、20教室完了
 51年 鈴木小の開校にあたり、児童138名転出
 55年 開校100周年記念式典
 平成2年 開校110周年記念式典、プール全面改修
 12年 開校120周年記念式典、コンピュータ室設置
 17年 研究協力校発表会 (算数)
 19年 特色ある教育活動推進校
 20年 コミュニティ・スクール推進事業委嘱校
 21年 コミュニティ・スクールに指定
 22年 開校130周年記念式典、放課後子ども教室開始
 25年 教室等・空調設備完備 (全教室)
 東京都言語能力向上推進校研究発表会
 優れた「地域による学校支援活動」文部科学大臣賞 受賞
 26年 東京都子供の体力向上推進優秀校
 27年 「三小放課後子ども教室」東京都学校支援団体感謝状表彰
 28年 オリンピック・パラリンピック教育重点校
 29年 小平市研究推進校 東京都情報教育推進校
 30年 校地拡大
 小平市研究推進校発表会 (特別な教科 道徳)
 令和元年 青少年赤十字加盟校
 東京消防庁応急手当奨励教育機関に指定
 2年 開校140周年記念集会 航空写真撮影 記念品制作
 3年 文部科学省国立教育政策研究所・教育課程実践検証協力校
 文部科学省・学習者用デジタル教科書実証事業校
 小平市教育委員会・特色ある教育活動推進校
 東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校
 4年 文部科学省国立教育政策研究所・教育課程実践検証協力校
 文部科学省・学習者用デジタル教科書実証事業校
 小平市教育委員会研究奨励校
 5年 文部科学省・学習者用デジタル教科書実証事業校
 小平市教育委員会研究推進校 (2年次)

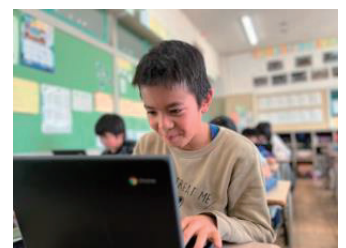
【教育目標】

- 考える子……よく聞き、よく考え、よく判断し、自ら行動できる子
- ◎やさしい子…互いの立場や相手のよさを認め合う思いやりのある子
- 元気な子……健康で、生き生きと活動できる子



【教育目標を達成するための基本方針】

- 児童一人一人が学校や地域への愛着をより一層深めていけるように、「学校・保護者・地域の連携」「これまでを振り返り感謝することとこれからの展望し希望をもつこと」をキーワードに、コミュニティ・スクールとしての教育活動を展開する。
- たてわり班活動や学級活動など特別活動を充実させ、「青少年赤十字加盟校」としての取組を進めることで互いの立場や相手のよさを認め合う思いやりのある子を育成していく。
- 児童の学力向上に向けて、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を図る。児童が「分かる喜び」「やり遂げた喜び」「成長する喜び」を実感できる教育を推進する。学力向上のための指導体制の充実と、適正な評価を実施する。言語活動、体験活動、読書活動を充実させる等、指導の方法や内容を多様に工夫する。
- Society5.0時代、予測困難な時代にも持続可能な社会の創り手となる人材の育成に向けて、ICTを積極的に活用していくとともに多様な人々と関わり合う学習活動を行う。
- 体力テストの結果を踏まえて体育指導を改善したり、体力向上週間を設けて運動の日常化を図ったりして、体育的活動を充実させる。
- 児童の健全育成に向けて、基本的な生活規範の形成・定着を目指すとともに、いじめの早期発見と未然防止に努め、「自分も人も大切にし、大切にされる心が育つ、安心・安全な学校」を目指す。道徳教育や人権尊重教育、キャリア教育、生活・安全指導を推進する。
- 特別支援教育の視点をもって、誰もが分かる授業のために学習環境や生活環境を整備する一人一人の児童を支援する組織的な校内体制を充実させ、関係する他校や関係機関と連携した取組を進める。
- オリンピック・パラリンピック教育では、全ての教育活動の様々な教育実践に関連付けて系統的に指導するとともに、日本人としての自覚や豊かな国際感覚、ボランティアマインドを醸成する。
- 令和4年度から小平市教育委員会研究推進校の指定を受け、2年目を迎えた。本年度に研究発表を行う。学習者用端末の活用で、教師・児童の力を最大限に引き出し、多様化する社会を主体的・協働的に生き抜く資質・能力を培う。



学習者用端末の効果的な活用



小平第四小学校

所在地	小平市学園西町一丁目34番1号
電話	042-341-0241 FAX 042-341-1002
電子メール	gakkou@04.kodaira.ed.jp
校長	早川 和男 副校長 栗原 由紀子
児童数	393名
学級数	16学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
教職員数	25名

【沿革】（抜粋）

昭和29年	小平町立小平第一小学校分校として開校
31年	小平町立小平第四小学校創立 校旗制定
35年	校歌制定
44年	プール完成
46年	体育館完成
51年	20周年記念式典挙行
57年	現校舎落成
61年	30周年記念式典挙行
平成8年	40周年記念式典挙行
10年	文部省・都教委研究協力校（平成12年度まで）
12年	特色ある教育活動推進校（市指定）
13年	小平市教育委員会研究推進校 ボランティア協力推進校（平成15年度まで）
14年	小平市教育委員会研究協力校
15年	特色ある教育活動推進校（市指定） 英語体験活動指定校（市指定）
16年	こだいら地域子ども教室実践校（文科省）
17年	地域教育プラットフォーム事業（東京都）
18年	50周年記念式典挙行
19年	コミュニティ・スクール推進事業（文科省）
20年	小平市コミュニティ・スクール指定校
21年	特色ある教育活動推進校（市指定）
22年	特別支援学級（ならのみ学級）開設 スポーツ推進校（東京都）（平成23年度まで）
23年	小平市コミュニティ・スクール指定校（第二期） 安全教育推進校（東京都）
24年	特色ある教育活動推進校（市指定）
25年	・エレベーター・太陽光発電設置 ・非常時電源設備設置 ・校舎等外壁塗装
26年	小平市コミュニティ・スクール指定校（第三期）
28年	60周年記念式典挙行
29年	小平市教育委員会研究推進校 小平市コミュニティ・スクール指定校（第四期）
30年	小平市教育委員会研究推進校発表
令和4年	自閉症・情緒障がい特別支援学級（固定制）の設置決定

【教育目標】

「他者と豊かにかかわり、知性を働かせ、明日を切り拓く子ども」の育成を図るために、次の教育目標を設定する。
 ○健康な子 ◎考える子 ○やさしい子 ○おこなう子
 他者と豊かにかかわり→他者を思いやる子ども（やさしい子）
 知性を働かせ→身に付けた知識・技能を活用する子ども（考える子）
 明日を切り拓く子ども→たくましく（健康な子）
 行動する子ども（おこなう子）



【教育目標を達成するための基本方針】

- 1 人権尊重の精神を大切にした教育の推進**
→ 「健康な子・やさしい子・おこなう子」
「児童一人一人の人権を尊重するということは、学ぶ楽しさ、仲間と触れ合う喜び、自己の成長を実感できるようにすること」を教職員及び本校の教育活動に関わるすべての人々共通の教育方針とする。そのために、人権教育を学校での全教育活動を通して行う。そして、児童に人権尊重・生命尊重について正しく認識させ、「一人一人の違いを認め、他者を尊重する心を育てる」ことを教育活動の根幹とする。
- 2 学力の向上** → 「考える子」
児童一人一人に達成感や充足感をもたせる授業を創造する自覚をもち、個を生かす授業はもとより、主体的・対話的で深い学びを通して、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力の育成をめざし、授業改善を推進する。
- 3 健全育成の推進** → 「健康な子・やさしい子」
児童一人一人を様々な視点から複数で把握し児童理解を図り、専科、養護教諭、生活指導部、スクールカウンセラー等、学校職員全体としてのチーム力で指導に当たる。また、児童の発達段階に応じて「きまり」の必要性を理解させ、社会生活上のルールや基本的モラル・規範意識を育成する。更に、家庭と学校、地域が同じ視線に立ち、家庭教育の支援に取り組む。
- 4 体力の向上・健康の保持増進**
→ 「健康な子・おこなう子」
児童の体力等の現状を踏まえつつ、児童の運動・スポーツに対する関心や意欲及び体力の向上を図る。また、健康づくりのために食育を重視した取組を行う。
- 5 キャリア教育の推進** → 「おこなう子」
「自己肯定感」と「将来設計力」を高めるための視点をもち、「キャリア教育」を推進していく。
- 6 特別支援教育の充実** → 「やさしい子」
特別支援学級と通常の学級との連携を密にし、特別支援教育の視点での教育環境を整備し、障がいの有無にかかわらず全教職員で児童の指導に当たる。



本校通学路及びキャラクター「ナラミー」



小平第五小学校

所在地 小平市花小金井六丁目24番1号
 電話 042-461-9300 FAX 042-461-9423
 電子メール gakkou@05.kodaira.ed.jp
 校長 松本 雅史 副校長 矢巻 尚美
 児童数 760名
 学級数 27学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）4学級）
 教職員数 40名

【沿革】（抜粋）

- 昭和32年 小平町小平第五小学校として開校
 39年 分校独立し小平第八小学校となる
 41年 10周年記念式典
 42年 分校独立し小平第十一小学校となる
 48年 分校独立し花小金井小学校となる
 くすの木学級開級
 51年 20周年記念式典
 52年 「すすんで活動する学級会」研究発表会
 58年 鉄筋校舎落成記念式典
 60年 東京都帰国子女教育推進校指定
 61年 自律心育成のためのノーチャイムの導入
 62年 30周年記念式典
 平成3年 「主体的に表現する子」研究発表会
 6年 「児童の主体性を育てる指導」研究発表会
 9年 くすの木学級閉級し十四小へ新設
 さくら学級（知的障害）開級
 40周年記念式典
 11年 小平市研究推進校協力校指定
 12年 「思いやりのある子を育てる」研究発表会
 13年 ボランティア推進校の指定（3年間）
 15年 児童用パソコン20台設置
 16年 防犯対策連絡会発足
 少人数学習指導導入
 18年 小平市特色ある教育活動推進校指定
 校舎増築及び改修工事
 19年 小平市研究推進校指定「ICT活用推進事業」
 50周年記念式典
 20年 小平市研究協力校指定「かかわり合い 共に学ぶ
 力を育てる 指導法の工夫」 ― 自ら考え表現す
 る活動を通して ―
 研究発表会
 24年 小平市特色ある教育活動推進校指定
 25年 空調設備設置工事
 29年 校舎増築 60周年記念式典
 31年 新校舎完成（東部公園側）
 令和元年 平成30年、31年度小平市研究推進校指定
 「追究する力を高める指導の工夫」 ― 地域の人・も
 の・ことを生かした授業づくりを通して ―
 研究発表会
 2年 コミュニティ・スクール設置
 5年 教科担任制導入（モデル校指定）
 特色ある教育活動研究推進校指定

【教育目標】

- すすんで学び （主体的に課題解決していく子ども）
 元気で （心も体もたくましい子ども）
 ○思いやりのある子（豊かな人間性をもち互いに助け合っ
 ていける子ども）



【教育目標を達成するための基本方針】（抜粋）

- 1 学力向上
 次代を担う子どもたちが自らの力を発揮し、自己実現を果たすために、一人一人に確かな学力を身に付けさせる。習熟度別指導（算数）や高学年教科担任制などの指導形態の工夫・改善、デジタル教科書などICTの活用を行い、発達段階に即し個性に応じた指導を実施する。
- 2 健全育成
 「小平第五小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止への徹底した取組を行い、誰に対しても思いやりのある心豊かな児童の育成を推進する。子どもが「自分の生命は自分で守る」という意識がもてるよう、「安全」や「防災」についての教育・指導を充実させる。異年齢集団活動を通し、児童相互が共に学び、自主的、協調的に働きかける等、社会性を育成する。
- 3 特別支援教育
 一人一人の子どもを理解し、その子に応じた能力を伸ばしていく。特別支援学級と通常の学級との積極的な交流活動を行い、人間関係の醸成に努め、共生しようとする態度の育成を図る。
- 4 地域と連携した教育活動
 コミュニティ・スクールとして、地域と共にある学校を目指して、「保護者支援・高齢者交流事業、SDGs推進事業、地域防災・防災教育推進事業」の取組を充実させる。
- 5 校内研究
 「自ら問いを見出し、解決方法を考え、主体的に環境に働きかける児童」を目指し、「持続可能な社会を創造する児童の育成」をテーマに研究をすすめる。低学年は生活科、中学年・高学年は総合的な学習の時間を中心として学習を推進していく。



学習者用端末を活用した授業



小平第六小学校

所在地 小平市小川東町三丁目1番2号
 電話 042-341-0356 FAX 042-341-7467
 電子メール gakkou@06.kodaira.ed.jp
 校長 屋代 弘一 副校長 廣瀬 美香
 児童数 588名 学級数 19学級
 教職員数 35名

【沿革】 (抜粋)

昭和35年 小平町立小平第六小学校として開校
 38年 校歌制定
 平成8年 新校舎起工式
 12年 「地域に開かれた学校づくり」東京都教育委員会表彰
 文部省より学校給食優良校表彰
 13年 小川東小学校と統合
 14年 二中区地域教育サポートネット事業開始
 15年 人権教育開発事業
 18年 文科省よりキャリア教育で表彰
 19年 東京都教育委員会より学校支援ボランティアの推進
 で表彰
 東京都食育推進研究指定校の指定
 コミュニティ・スクールの指定
 20年 東京都スポーツ教育推進校の指定
 21年 文部科学省外国語活動実践研究校
 東京都食育推進事業生産体験推進事業実践校
 23年 文部科学省栄養教諭による食育推進事業の指定
 24年 小平市教育研究推進校・文部科学省食育推進校
 研究発表会
 文部科学省国立教育政策研究所学習指導実践研究協
 力校
 25年 文部科学省食育推進校（3年目）
 26年 東京都学校動物飼育推進校
 27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 28年 小平市教育研究推進校
 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 アクティブライフ研究実践校
 29年 小平市教育研究推進校（2年目）
 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 アクティブライフ研究実践校（2年目）
 30年 アクティブライフ研究実践校研究発表会（3年目）
 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 令和2年 開校60周年
 3年 小平市教育研究推進校
 4年 小平市教育研究推進校研究発表（2年目）
 5年 コミュニティ・スクール6期17年目

【教育目標】

人間尊重の精神を基調に、生涯学び続ける国際性豊かな日本人の育成を目指して、教育目標の具現に努める。

- ・元気でしようぶな子
- ・よく考えてやりぬく子
- ・仲よくできる子
- ・進んで働く子



バルーンリリース

【教育目標を達成するための基本方針】

- ①確かな学力の向上
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導の充実
 - ・GIGAスクール構想の円滑な推進
 - ・学習評価の充実 ・読書活動の充実
 - ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得
 - ・プログラミング教育の充実 ・家庭学習の習慣の定着
- ②豊かな心の育成
 - ・人権教育の推進と道徳教育の充実 ・六つの生活名人
 - ・児童の発意・発想を生かした特別活動
 - ・いじめ防止の対応に向けた取り組み
 - ・不登校児童への対応 ・長期欠席児童の居場所づくり
 - ・六小スタンダード ・キャリアパスポート
- ③健やかな体の育成
 - ・運動習慣の定着と体力の向上（コダイラスロン）
 - ・規則正しい生活習慣の推進 ・健康・安全教育の充実
 - ・給食と食育に関する指導の充実 ・食物アレルギー対応
 - ・新型コロナウイルス感染症対応
- ④特別支援教育の充実
 - ・ひまわり（特別支援教室）と担任等との連携した特別支援教育の充実（校内委員会の充実）
 - ・教育相談体制の充実
 - ・特別支援理解教育の推進
 - ・特別支援学校との交流及び共同学習の充実
- ⑤校内研究の充実
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて「学習スタンダード」「学びのデザインマップ」の開発（国語、体育、道徳）
- ⑥長期欠席児童の居場所作り
 - ・コミュニティ・スクールにこにこ登校プロジェクトの充実
 - ・ふれあいマンデーでの地域人材との昔遊び
 - ・「六小未来カフェ」の開催での保護者支援
 - ・特別な配慮を要する児童への学級での支援
- ⑦ライフ・ワーク・バランスの推進
 - ・主幹教諭、指導教諭及び主任教諭を中心に分掌ごとの円滑な校務の推進、組織的な対応
 - ・教職員が課題を一人で抱え込むことなく、共有、協働することができる相談体制づくり
 - ・校内OJTの更なる推進
 - ・校務改善に資する地域人材、スクール・サポート・スタッフ等との連携促進
- ⑧コミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域が一体となった地域参画型教育を推進し、地域人材の積極的活用及び地域教材の開発を進める。
- ⑨小平第二中学校区で、児童・生徒の情報交換、出前授業、部活動体験などを実施し、小・中連携を進める。

